

# 決算説明会

取締役 常務執行役員  
 平居 義幸

2017年7月27日

## 2017年度 第1四半期実績 および上期見通し

為替レート	2016年度 1Q	2016年度 2Q	2016年度 上期	2017年度 1Q	2017年度 2Q	2017年度 上期	2017年度 期初計画
前提	¥118/US\$ ¥130/€	¥104/US\$ ¥116/€*	¥111/US\$ ¥125/€	¥113/US\$ ¥121/€	¥110/US\$ ¥124/€	¥112/US\$ ¥123/€	¥113/US\$ ¥121/€
実績 *期中平均	¥108/US\$ ¥122/€	¥102/US\$ ¥114/€	¥105/US\$ ¥118/€	¥111/US\$ ¥122/€	-	-	-

\*8月より

## 2017年度第1四半期 損益概要

- 1Qは増収、各段階の利益とも増益。経常・最終利益は大幅増
- 1Qは売上高、各段階の利益とも計画通り進捗

(億円)	2016年度 1Q実績	2017年度 1Q実績	増減
売上高	2,278	2,339	+62
営業利益	112	126	+14
経常利益	61	140	+79
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1	99	+98

## 2017年度第1四半期 カンパニー別売上高・営業利益

- 住宅、環境LLは増収増益。高機能Pは減益も、計画通り進捗
  - 高機能P: 為替、原料高影響により減益も、数量・構成は拡大
  - 住宅: 新築売上棟数増により、増収増益
  - 環境LL: 数量・構成拡大により、増収、大幅増益。1Qとして初の黒字化

(億円)	2016年度 1Q実績		2017年度 1Q実績		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
高機能P*	911	155	912	144	0	▲11
住宅*	896	▲18	949	▲4	+53	+14
環境LL*	505	▲4	517	14	+13	+18
その他	8	▲19	11	▲25	+3	▲6
消去又は全社	▲43	▲2	▲49	▲3	▲7	▲1
合計	2,278	112	2,339	126	+62	+14

\*高機能P=高機能プラスチックカンパニー \*住宅=住宅カンパニー \*環境LL=環境・ライフラインカンパニー

## 2017年度上期見通し 損益概要

■大幅増収、各段階の利益で増益確保。営業利益は上期としての最高益更新見込み

(億円)	2016年度 上期実績		2017年度 上期見通し		増減	2017年度 上期期初計画	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益		売上高	営業利益
売上高	5,179		5,350		+171	5,350	
営業利益	437		445		+8	445	
経常利益	400		435		+35	435	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	261		280		+19	270	
配当 (円/株)	16		19*		+3	19*	

\*うち1円は創立70周年記念配当

## 2017年度上期見通し カンパニー別売上高・営業利益

■3カンパニーとも期初計画通り進捗し、増益達成の見込み

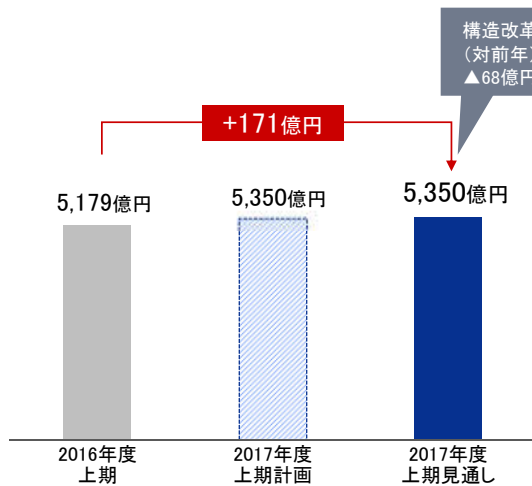
- ・高機能P:数量・構成を引き続き拡大し、上期としての最高益更新見込み
- ・住宅:新築売上棟数増により増収増益
- ・環境LL:数量・構成拡大により、上期としての最高益更新見込み

(億円)	2016年度 上期実績		2017年度 上期見通し		増減		2017年度 上期期初計画	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
	高機能P	1,767	275	1,840	280	+73	+5	1,840
住宅	2,377	172	2,460	180	+83	+8	2,460	180
環境LL	1,120	32	1,120	40	0	+8	1,120	40
その他	13	▲39	30	▲50	+17	▲11	30	▲50
消去又は全社	▲99	▲4	▲100	▲5	▲1	▲1	▲100	▲5
合計	5,179	437	5,350	445	+171	+8	5,350	445

# 2017年度上期見通し 売上高、営業利益増減要因分析

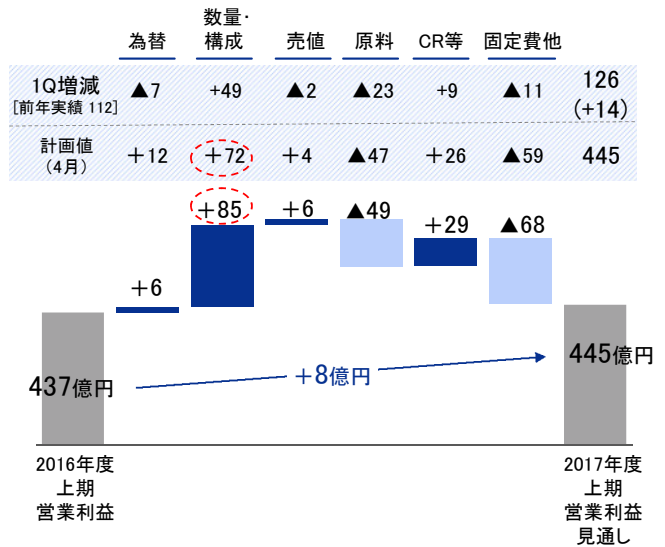
■数量・構成大幅増により、原料高、固定費増をオフセット

売上高



・構造改革影響除く実質ベースでは、239億円増収

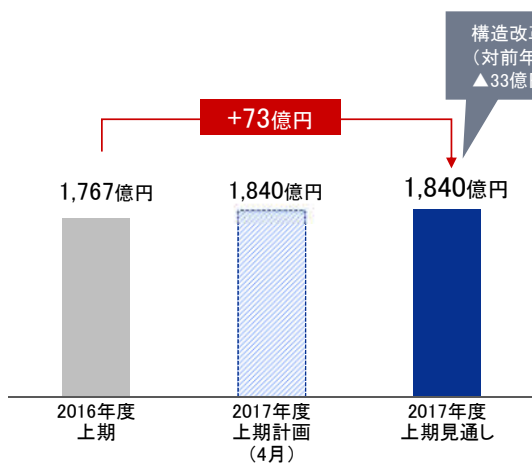
営業利益増減要因分析



# 高機能プラスチックカンパニー 上期業績見通し

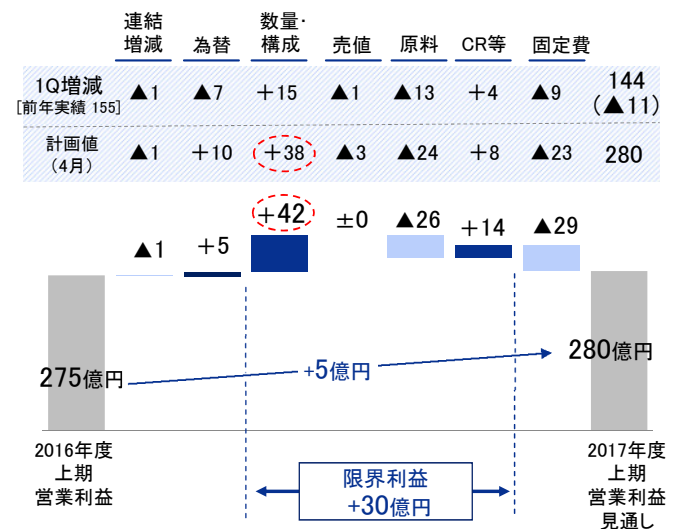
■4戦略分野を中心とした「数量・構成」増、CRにより、原料高・固定費増をオフセット。上期計画通り進捗

売上高



・構造改革影響除く実質ベースでは、106億円増収

営業利益増減要因分析



# 高機能プラスチックカンパニー 戦略4分野

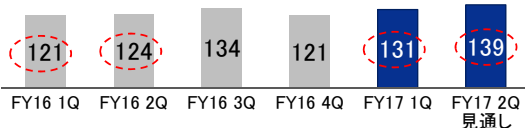
- 車輻・輸送分野が多少市況影響受け若干計画未達、他分野は順調に進捗
- 総じて、2Qは1Q並みの市況を想定

## 戦略4分野の売上高推移と進捗状況

### エレクトロニクス

- ・FPD市況回復を受け、主力製品が順調。計画を上回り進捗
- ・実装・半導体分野への展開が順調に進む

(億円)



### 住インフラ材

- ・塩素化塩ビ樹脂: グローバルで需要回復傾向。インドではシェアUP
- ・耐火材: 国内既存分野は停滞も、用途展開、海外展開進む

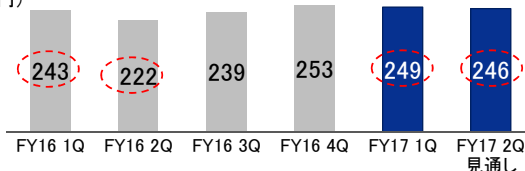
(億円)



### 車輻・輸送

- ・米州・中国で市況(自動車生産低調)影響を受ける。他エリアは順調
- ・計画にはやや未達も、グローバルで高機能品拡販進む

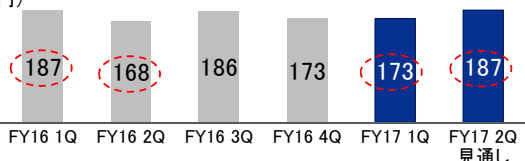
(億円)



### ライフサイエンス

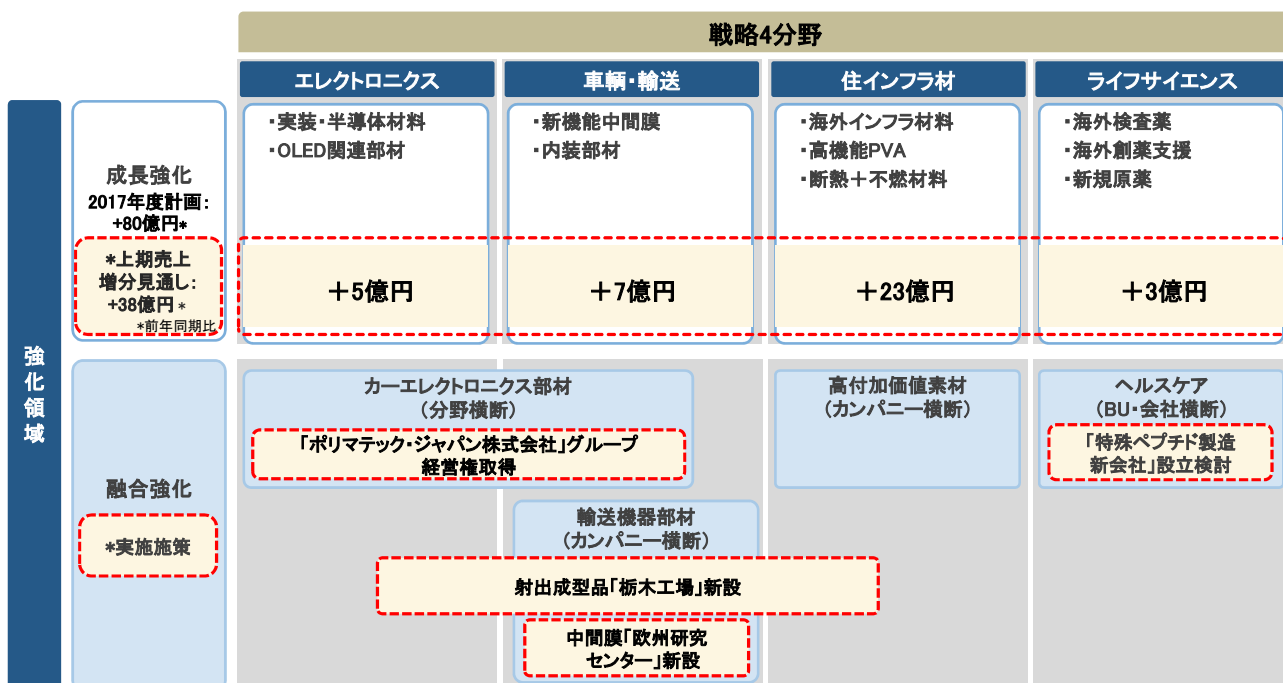
- ・国内検査薬市場回復。新製品が貢献
- ・エーディア社の統合が完了

(億円)



# 高機能プラスチックカンパニー 強化領域

- 成長強化領域は順調に売上増。融合強化領域では、成長戦略の「仕込み」が進む



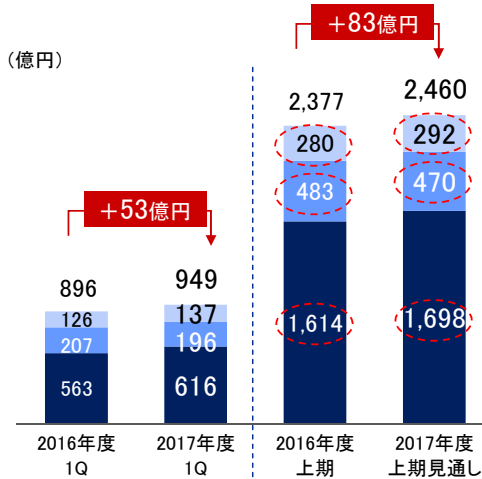
# 住宅カンパニー 2017年度上期業績見通し

## ■各事業とも上期計画通り進捗

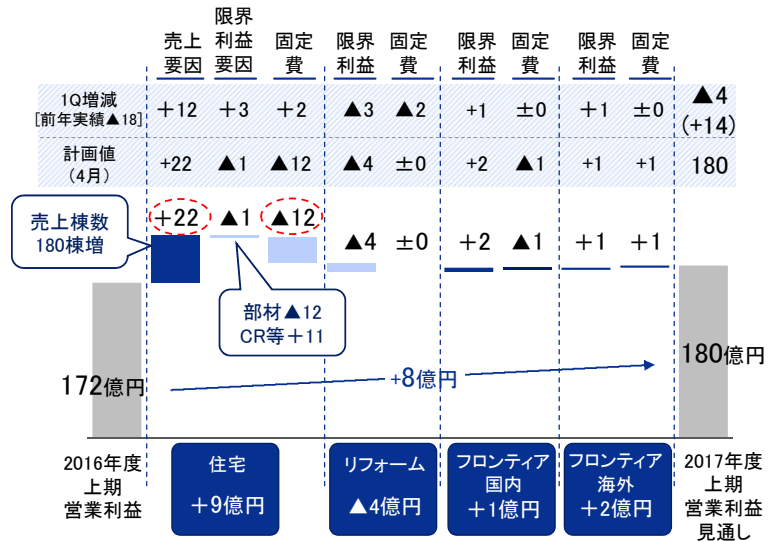
- 住宅: 売上棟数増により、増収増益
- リフォーム: 期初受注残少なく、減収減益。1Q受注は前年並みで進捗
- フロンティア: 不動産事業を中心に伸長

事業別売上高

■住宅 ■リフォーム ■フロンティア国内、海外



営業利益増減要因分析



# 住宅カンパニー 新築住宅受注

## ■「新商品」、「土地・分譲」強化により、受注のさらなる伸長を図る

\*パーセンテージは何れも前年同期比

### 市場環境・受注状況詳細等

#### ■ 1Q受注は、3大都市圏を中心に戸建はほぼ計画通り(103%)

- 木質系伸長(112%)、鉄骨系も前年比増を確保(101%)
- 集合住宅は大幅減(74%)
- ファーストバイヤーによる分譲住宅需要は堅調

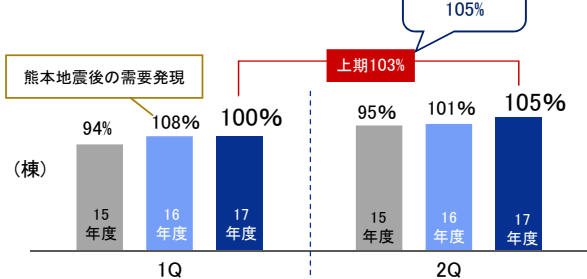
#### ➢ 2Qは、1Q並みの市場環境を想定

- 顧客の様子見姿勢強く、検討が長期化

#### ➔ モデルハウスリニューアル、発掘源多様化により、1Qは前年並みの集客確保(5~6月度は108%)

### 受注計画

#### 新築受注棟数の推移



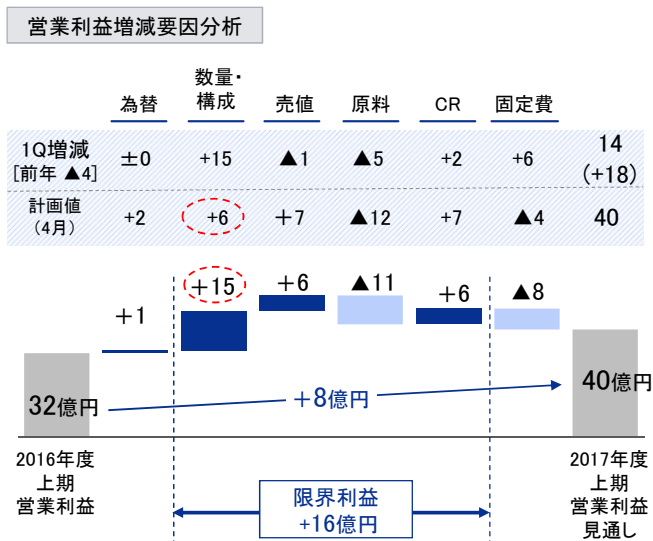
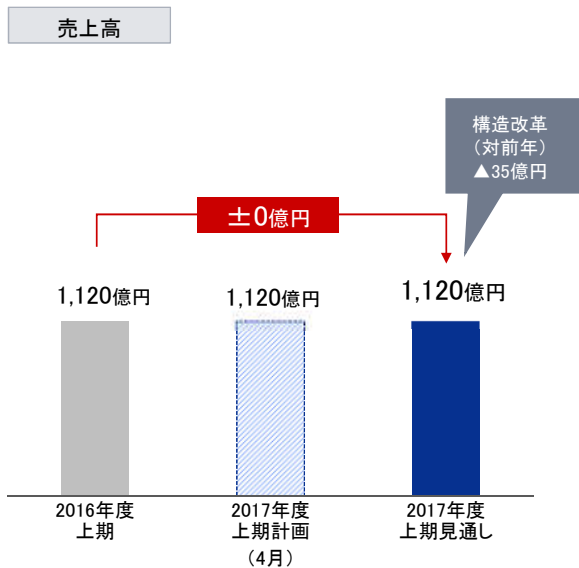
### 上期受注獲得施策の進捗状況

	1Q	2Q
「70周年記念」商品戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ボリュームゾーン攻略木質系新商品テスト販売好評</li> <li>✓ 平屋タイプの受注拡大(1Q: 124%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ テスト販売体制強化、エリアを拡大</li> <li>✓ 自給自足型スマートハウスのバリエーション強化「スマートパワーステーションGR」発売</li> </ul>
土地・分譲	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 大型分譲地「スマートハイムシティ」全国で好評(1Q分譲受注: 118%)</li> <li>✓ 建売販売好調(1Q建売受注: 119%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 分譲・建売をさらに強化(2Q分譲受注計画: 119%)</li> </ul>
集客・ランクUP	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ “融合”による紹介発掘強化 - 「70周年記念」紹介キャンペーン、積水化学グループ社員向け工場見学会</li> <li>✓ 発掘源の多様化を推進 - 工場・現場見学会、オープンハウス、資料請求等</li> </ul>	

# 環境・ライフラインカンパニー 2017年度上期見通し

## ■数量・構成拡大により、上期計画通り進捗

- 原料vs売値のスプレッドは1Q分取りこぼし、2Qより改善見込む



・構造改革影響除く実質ベースでは、35億円増収

# 環境・ライフラインカンパニー 戦略3分野

## ■3分野とも順調に進捗、成長への「仕込み」も進む

## ■重点拡大製品\*拡販が順調に進捗

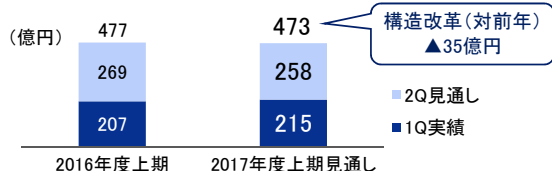
\*重点拡大製品:  
高付加価値、かつ市場成長・代替が見込める製品

### 戦略3分野の売上高推移と進捗状況

#### 配管・インフラ

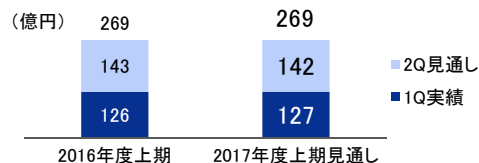
\*1 Tien Phong Plastic South Joint Stock Company

- 大都市圏のインフラ・商業建築向け需要旺盛
- ベトナム大手パイプメーカーTPS社\*1に資本参加 (25.3%) (ASEAN拡大のパートナー戦略)



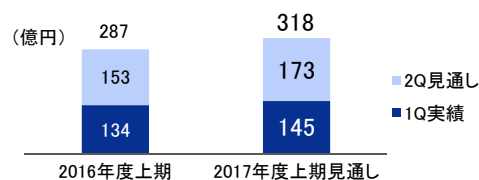
#### 建築・住環境

- 新設住宅着工と連動し、ほぼ横ばい
- 樹脂畳、介護機器など高付加価値製品を伸長



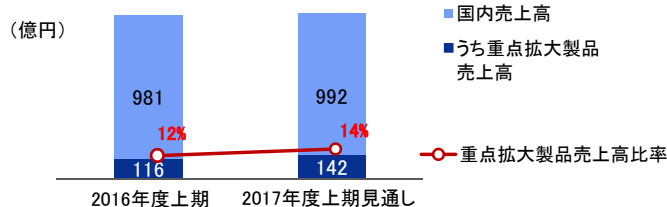
#### 機能材料

- 航空機向けシート1Qやや苦戦、FFUは海外向け好調
- 増産投資に着手 (FFU、シート)



#### 重点拡大製品売上高

- 新製品上市が計画通り (インフラガード、高層建築用高耐圧配管)



## 2017年度第1四半期 決算内容

### 連結対象会社数と増減影響

#### 連結対象会社数

	2017年3月末	2017年6月末	増減
連結会社	143社	140社	増加 4社*1 減少 7社*2
持分法会社	8社	8社	増加 0社 減少 0社

\*1 エナックス、積水化学投資(上海)等

\*2 セキスイハイム不動産3社を1社に、セキスイハイム工業4社を1社に統合を含む

#### 連結会社増減による影響額

	2017年度1Q	増減
売上高	▲36億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 積水フィルム*3</li> <li>・ 日本ノーディングテクノロジー*4</li> <li>・ 積水可耐特(河北)環境科技*4 等</li> </ul>
営業利益	+5億円	

\*3 2016年度第2四半期より連結除外

\*4 2016年度第4四半期より連結除外



## 損益概要

(億円)	2016年度1Q	2017年度1Q	増減	
売上高	2,278	2,339	+62	
売上総利益	750	763	+12	
売上総利益率	32.9%	32.6%	▲0.3%	
販売費および一般管理費	638	636	▲2	
営業利益	112	126	+14	
持分法投資損益	1	3	+1	為替差損益 ▶ 34億円
その他営業外損益	▲52	11	+63	
経常利益	61	140	+79	
特別利益	22	25	+3	
特別損失	46	3	▲43	前年投資有価証券 評価損有り
税引前利益	37	161	+124	
法人税等	33	46	+13	
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	16	+12	
親会社株主に帰属する四半期純利益	1	99	+98	
為替レート (期中平均)	米ドル	108円	111円	
	ユーロ	122円	122円	

## 貸借対照表 -資産-

(億円)	2017年 3月末	2017年 6月末	増減	
現金及び預金	1,099	937	▲162	
売上債権	1,641	1,533	▲108	
棚卸資産	1,536	1,688	+153	
その他流動資産	386	421	+35	
有形固定資産	2,618	2,658	+40	
無形固定資産	396	390	▲5	
投資有価証券	1,569	1,630	+61	時価評価等
投資その他の資産	193	171	▲22	
資産合計	9,436	9,428	▲8	為替影響 ▶ 47億円

## 貸借対照表 -負債・純資産-

(億円)	2017年 3月末	2017年 6月末	増減	
無利子負債	3,294	3,209	▲85	
有利子負債	437	489	+52	
負債合計	3,731	3,698	▲33	
資本金等	2,092	2,092	0	
利益剰余金	3,410	3,298	▲112	当期純利益 ▶ 99億円 配当金支払 ▶ ▲91億円 自己株式消却 ▶ ▲129億円
自己株式	▲410	▲382	+28	取得 ▶ ▲105億円 消却 ▶ 129億円
有価証券評価差額金	395	454	+60	
非支配株主持分	208	225	+17	
その他純資産	11	44	+33	
純資産合計	5,705	5,731	+25	
負債・純資産合計	9,436	9,428	▲8	

## 連結キャッシュ・フロー

(億円)	2016年度1Q	2017年度1Q	
営業活動によるキャッシュ・フロー	106	47	法人税支払増
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲59	116	定期預金払戻による収入 190億円等
財務活動によるキャッシュ・フロー	59	▲157	自己株式取得 配当金増
現金及び現金同等物の増減額	39	18	
現金及び現金同等物の期末残高	710	923	
フリーキャッシュ・フロー ＝営業活動CF＋投資活動CF－配当支払	▲33	70	

## 減価償却費・資本的支出

(億円)	2016年度		2017年度		増減	
	1Q	通期	1Q	通期計画	1Q	通期
減価償却費	84	348	88	360	+4	+12
資本的支出	123	439	124	520	+1	+81

## 2017年度上期見通し 損益概要

(億円)	2016年度 上期実績	2017年度 上期見通し	増減	2017年度 上期期初計画
売上高	5,179	5,350	+171	5,350
営業利益	437	445	+8	445
経常利益	400	435	+35	435
親会社株主に帰属する 四半期純利益	261	280	+19	270
配当 (円/株)	16	19*	+3	19*

\*うち1円は創立70周年記念配当

スライドに記載されている見込、計画、見通しなど歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいて作成されております。従って、実際の業績は、様々な重要な要素の変化により大きく異なる結果になりうることを、ご承知おきください。



# 住宅カンパニー実績・計画について

## 1. 住宅事業の主要データ

	2017年度		2016年度			
	1Q	上期見通し	1Q	上期	下期	
連結	売上高(億円)	949	2,460	896	2,377	2,473
	住宅	616	1,698	563	1,614	1,693
	リフォーム	196	470	207	483	486
	フロンティア国内	133	282	123	272	283
	不動産	112	235	104	227	236
	住生活サービス	20	47	19	44	47
	海外	4	10	3	8	10
その他	1.販売戸数(戸)	2,300	7,000	2,200	6,620	7,000
	戸建て	1,840	4,930	1,720	4,740	4,820
	ハイム	1,560	4,180	1,360	3,790	3,980
	ツーユー	280	750	360	950	840
	アパート	460	2,070	480	1,880	2,180
	2.主なデータ					
	単価<全国販社・戸建>(百万円)	31.0	-	30.4	30.4	30.8
	坪単価<全国販社・戸建>(万円)	83.1	-	81.1	81.8	82.6
	床面積(m <sup>2</sup> )	123.1	-	123.7	122.7	123.0
	展示場数(棟)	-	418	-	412	414
営業マン数(人)	2,548	2,525	2,558	2,522	2,370	
建替え比率(%)*	28%	30%	29%	30%	30%	
紹介契約比率(%)*	32%	32%	37%	37%	34%	

\*建替え比率と紹介契約比率は受注ベース

# 住宅カンパニー実績・計画について

## 2. 受注状況等

(百万円)	2017年度		2016年度			2015年度	
	1Q	上期見通し	1Q	上期	下期	上期	下期
期初受注残	206,000	-	205,500	-	207,500	204,300	205,500
伸び率	±0%	-	+1%	-	+1%	▲12%	▲8%
新規受注	92,277	205,788	91,793	202,457	207,529	199,914	204,391
伸び率	+1%	+2%	+5%	+1%	+2%	▲5%	+5%
請負売上高	75,077	204,288	73,593	200,457	209,029	198,714	204,391
伸び率	+2%	+2%	▲5%	+1%	+2%	▲9%	▲4%
期末受注残	223,200	207,500	223,700	207,500	206,000	205,500	205,500
伸び率	±0%	±0%	+5%	+1%	±0%	▲8%	+1%

## 3. 住宅着工戸数

(戸)	2017年度		2016年度		
	1Q	上期見通し	1Q	上期	下期
住宅着工戸数	246,860	470,000	247,079	500,151	473,986
上記での持ち家着工(=A)	74,097	146,000	74,012	152,836	138,947
当社販売戸数	2,300	7,000	2,200	6,620	7,000
当社戸建て販売戸数(=B)	1,840	4,930	1,720	4,740	4,820
持ち家での当社シェア(=B/A)	2.5%	3.4%	2.3%	3.1%	3.5%

\*2017年度1Q以降の“住宅着工戸数”と“上記での持ち家着工”は見通し

## 4. 高性能住宅仕様装着比率

	2017年度		2016年度		
	1Q	上期見通し	1Q	上期	下期
太陽光発電搭載	75%	78%	76%	77%	78%
タイル外壁仕様(ハイムJXタイプ)	71%	72%	66%	67%	68%
蓄電池搭載比率	23%	23%	23%	21%	27%
快適エアリー	75%	75%	74%	73%	77%